

やまびこ

発行日：平成 24 年 7 月 発行：高山赤十字病院 高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 発行責任者：地域連携課

平成 23 年度 病診連携の現状報告

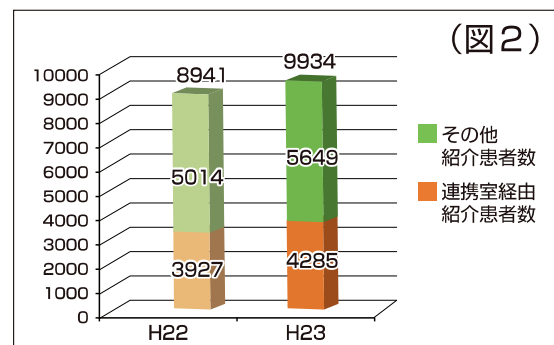
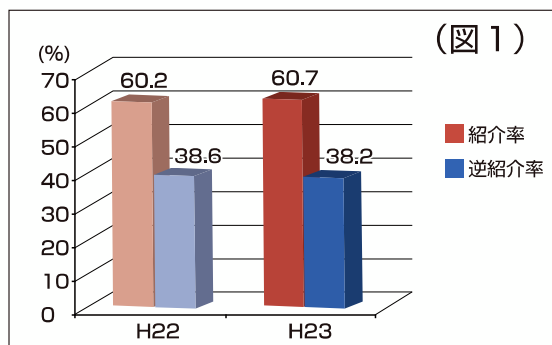
医療社会事業部 地域連携課長 牧戸 澄夫

地域医療機関の先生方、介護・福祉、行政の方々には平素より高山赤十字病院に対し多大なご支援を頂き誠にありがとうございます。

今回、当院における病診連携の現状について、ご紹介させて頂きたいと思います。

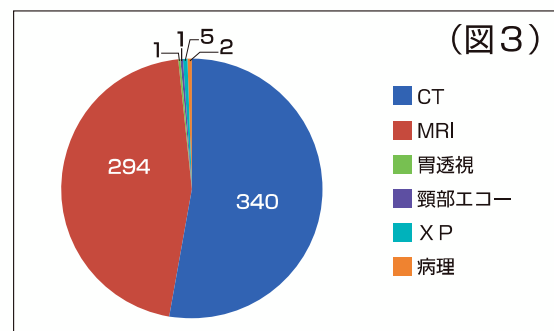
● 紹介率・逆紹介率について

平成 23 年度における紹介率・逆紹介率は（図1）に示すように紹介率 60.7%・逆紹介率 38.2%でした。又、全紹介患者数に対しての連携室経由紹介患者数では、約 43%の割合で地域医療機関より直接連携室を経由し診療予約をとられています（図2）。今後も紹介・逆紹介が円滑に進むよう検討してまいります。



● 医療機器共同利用について

医療機器共同利用とは、病院で保有している医療機器を登録医の先生方に利用して頂くシステムです。システムの内容については、2ページで紹介しておりますのでご参照下さい。平成 23 年度の主な医療機器共同利用では（図3）のとおりとなっています。今後とも、このシステムをご利用頂ける様、心よりお待ちしております。



目次

- 平成23年度 病診連携の現状報告 1
- 医療機器共同利用のご案内 2
- 第22回ひだ糖尿病コ・メディカルセミナーの報告 ... 3
- 飛騨医療安全講習会 3
- 小児科外来を改装 4
- 平成24年度 第1回地域医療連携検討委員会の報告 ... 4
- 新任医師の紹介 5
- 退任医師 5
- 新任研修医の紹介 6
- 研修・講演・勉強会のご案内 7
- 地域連携課からのお知らせ 8
- 編集後記 8

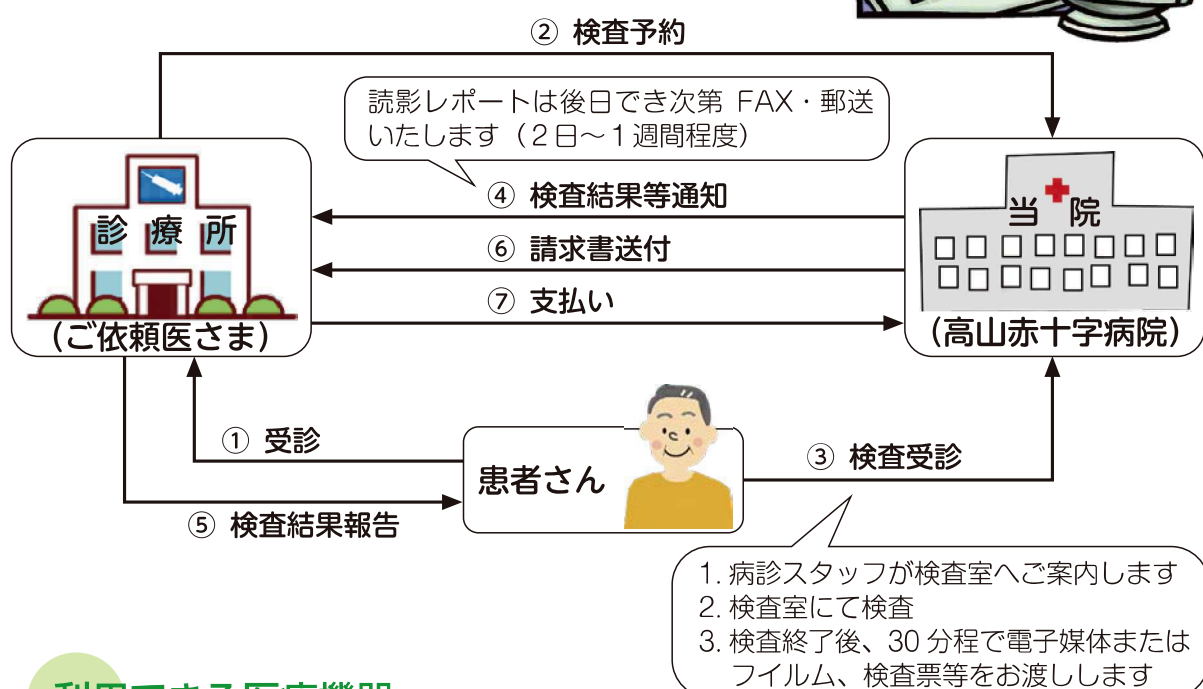
医療機器共同利用のご案内

医療機器共同利用とは、病院で保有している医療機器を、診療所（病院・開業医）の先生方にも利用していただくためのシステムです。

※医療機器共同利用をご希望される場合は、「登録医申込書」を地域連携課病診連携室までご提出ください。



医療機器共同利用システムフローチャート



利用できる医療機器

放射線関係（予約制）

- ・CT検査（コンピュータ断層撮影装置）
- ・MRI検査（磁気共鳴コンピュータ断層撮影装置）
※鎮静が必要な場合を除く
- ・消化管透視（胃）
- ・X線単純撮影
- ・骨塩定量検査（骨塩定量測定装置）

検査関係（予約制）

- ・ホルター心電図
- ・眼底カメラ
- ・肺機能検査（単純）
（肺気量分画測定 フローボリュームカーブ）
- ・肺機能検査（精密）
（単純検査項目＋機能的残気量測定・呼気ガス分析）
- ・頸部エコー
- ・病理組織・細胞診検査

お申し込み・お問い合わせは、地域連携課 病診連携室 まで

第22回ひだ糖尿病コ・メディカルセミナーの報告

平成 24 年 6 月 9 日 (土)

第三内科部長 柴田 敏朗

飛騨地区ではひだ糖尿病コ・メディカルセミナーを以前から開催しております。本年(平成24年)は6月9日(土)に高山赤十字病院の講堂で行われました。

内容に関しては、飛騨地域各医療機関のコ・メディカルの方による一般演題と、特別講演の二部構成としております。

本年は、国保坂下病院(東濃地区ですが、毎年ご参加頂いています)の薬剤部、下呂市立金山病院の看護部、久美愛厚生病院の看護部、当院の栄養課、当院の看護部からの計5題の発表があり、活発な質疑応答がなされました。坂下病院からは手作りの人形劇による患者啓蒙活動といったユニークな発表をして頂きました。

特別講演では、東海地区の糖尿病認定看護師の会の代表世話人である、水野美華先生から「糖尿病看護認定看護師の取り組みについて」というご講演を頂きました。

飛騨地区では、糖尿病を専門としている医師は非常に少なく、多数の糖尿病患者は一般開業医の先生方に診て頂いているのが現実ですが、近年の糖尿病患者の増加は著しく、当地区においても十分な対応が必要とされています。幸いにして、コ・メディカルの皆様方で、糖尿病に対して関心を



を持ってくださる方が多く、糖尿病療養指導士に挑戦して下さる方も多いようです。この会がそのような皆さんのお役に立てればと考えております。特別講演もできるだけ皆さんの要望を入れて、飛騨地区においても質の高い講演が聴講できるように考えております。療養指導士や療養指導医の単位も取得できるように配慮をしております。毎年6月頃の土曜日に行っておりますので、ご興味のある方は是非ご参加頂けると幸いです。

飛騨医療安全講習会 in 高山赤十字病院

平成 24 年 6 月 28 日 (木)

「多職種連携と医療安全

～輸液栄養管理と NST 活動も含めて」

岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター (NST/ICT) 教授

村上 啓雄 先生



最近、とくに 21 世紀以降診療現場でチーム医療の重要性が叫ばれ、NST や ICT などによる診療支援活動が展開されてきた。しかし、チーム医療は、ミーティングやラウンドを行って専門家集団として塊で活動することのみが本来のあり方ではなく、また職種にかかわらず様に同水準の知識、技能を身に付け、それぞれ同レベルでディスカッションし合うものでもない。各職種が各々の専門性を磨き、他職種と連携しながら多職種が患者さんに直接寄り添うことこそ、新のチーム医療であると考えられる。

一方、医療事故やインシデントの発生過程で、チーム医療の中でのコミュニケーションエラーが重要な原因であることがわかっている。各職種間の風通し良い連携を維持することが患者安全に大きく貢献することを理解し実践すべきである。

本講演では、まず輸液栄養管理と NST、ICT 活動を含め、当院での取り組みを示しながらチーム医療のあり方についての持論を述べ、また患者安全のためのコミュニケーションスキルについて実際のインシデント事例を示しつつ一緒に考えてみたい。



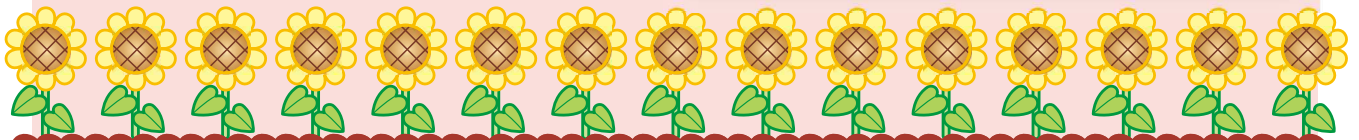
小児科外来を改装

第一小児科部長 山岸 篤至

今年のゴールデンウィーク期間を利用して小児科外来の改装を行いました。

- ① 奥のスペースをしっかりと取り、診察室を通らなくても出入りできるようにしました。これにより診察中の患者さんの横を通って奥へ行くことがなくなり、スタッフの動線がよくなりました。
- ② 隔離診察室の入り口を病棟への通路側に回し、他の患者さんとなるべくクロスしないようにしました。また大きくはありませんが隔離専用の待合室を作りました。
- ③ 空間を広く取り、すぐに必要でないものは外来処置室や診察室におかないようにしました。
- ④ 今まででは受付窓口が狭かったのですが、今回窓口を大きくし、できるだけオープンなイメージとなるようにしました。
- ⑤ 待合室の壁紙をかわいらしくしました。
- ⑥ いままでエアコンが効きにくく、梅雨時期にはかなりムシムシしていたので個別のエアコンを設置しました。

スペースが限られておりましたので満足できるような外来にはできませんでしたができる限りの改装を行いました。皆様一度見に来てください。



平成24年度 第1回地域医療連携検討委員会の報告

標記委員会を5月30日（水）に開催いたしました。

地域医療連携検討委員会は、地域医療機関等からの要請に対応し必要な支援を行えるよう審議するため定期的に行われる委員会です。

委員会では、平成23年度の救急外来の患者数、紹介率・逆紹介率、地域連携課の現状について、耳鼻咽喉科の安藤部長より「耳鼻咽喉科の現状」の報告をして頂きました。

久美愛厚生病院からは新築移転、開院時の状況、新設された緩和ケア病棟、PET-CTに関連した説明があり、飛騨市民病院からは、大学と提携した学生臨床プロジェクトの経過報告がありました。

また、各委員より、住民に向けた健康教室、健診などに関して積極的に広報していること、医療情報を市民にPRしているという報告や、国の方針である在宅推進に関連して患者が在宅へスムーズに移行できるようなシステム作り、医療機関との連携を図り医師の負担軽減につとめたいとの意見がありました。

新任医師

の 紹介

- ① 診療科・職名
- ② 専門分野
- ③ 専門医・認定医
- ④ 診療に対するモットー
&自己紹介 など



南 舘 謙 (みなみだて ゆずる)



- ① 泌尿器科 副部長
- ② 悪性腫瘍
- ③ 日本泌尿器科学会専門医・指導医
日本がん治療認定医機構認定医・暫定教育医
ICD制度協議会 ICD
日本化学療法学会抗菌化学療法認定医
- ④ 患者様にできるだけわかりやすく説明する事を心掛けています。
微力ながら頑張りたいと思います。
また、飲み会大好きです。誘って下さい。

岩 砂 智 丈 (いわさ ともたけ)



- ① 産婦人科 医師
- ② 周産期
- ③ 日本産科婦人科学会専門医
岐阜県医師会母体保護法指定医
- ④ 平成24年7月よりお世話になっております。
周産期をメインに日々診療しています。よろしくお願いします。

川 口 智 則 (かわぐち とものり)



- ① 循環器内科 医師
- ② 循環器内科
- ③ 日本内科学会認定内科医
- ④ 本年7月より循環器内科医として配属になりました。川口智則と申します。
地域に密着した医療ができるよう心掛けていきたいと思っています。
御指導御鞭撻の程よろしくお願いいたします。

退任医師

循環器内科副部長

八 巻 隆 彦

6月30日付

泌尿器科副部長

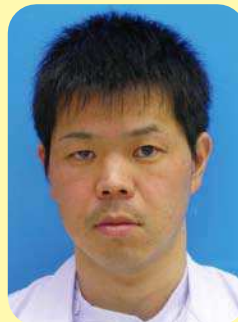
小 島 圭 太 郎

6月30日付

お疲れさまでした

新任研修医の紹介

- ① 出身地
- ② 興味のある分野
- ③ 診療に対する
モットー&
自己紹介 など



こ じ ま し ょ う じ
小島 昭司

- ① 岐阜県本巣市
- ② 小児科、整形外科
- ③ サッカー、フットサルが趣味です。研修2年目でまだまだ未熟ですが、患者さんに信頼してもらえる医療が出来るよう頑張りたいです。



す え つ ぐ と も な り
末次 智成

- ① 岐阜県岐阜市
- ② 外科系、地域医療
- ③ 初めまして、研修医1年目の末次です。医師という仕事を始めて4ヶ月弱ですが、日々自分の無力さを痛感しつつも、同時に多くの方々の温かい支えにより少しずつ成長できているのではないかと感じ、大変感謝しています。この気持ちを忘れず精一杯頑張りたいと思います。至らぬ点多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。



ば ん て つ あ き
阪 哲彰

- ① 岐阜県瑞穂市
- ② 地域医療
- ③ 飛騨の医療のためにお役に立てるよう日々精進し頑張ります。よろしくお願いします。



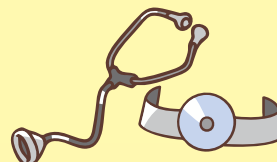
や ま う ち あ す か
山内 明日香

- ① 岐阜県岐阜市
- ② 外科（外傷）
内科（内分泌）
- ③ 大学時代はバドミントンをしていました。そこで培った体力と精神力で、診療も一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。診療では、治療はもちろんのこと、明るく笑顔で患者様に寄り添っていきたいと思っています。



も も せ た か し
百瀬 崇

- ① 長野県松本市
- ② 内科、外科
- ③ 研修医の百瀬です。岐阜大学出身です。温泉と山が好きです。楽しく診療することがモットーです。よろしくお願いします。





なかむら あきひさ
中村 晃久

- ① 岐阜県坂祝町
- ② 地域医療
- ③ 私は栃木県にある自治医科大学で学んで参りました。久しぶりに岐阜に戻ってこれ、大変嬉しいです。初期研修の2年間は幅広く、多くのことを学び、吸収したいと考えておりますので、何卒よろしくお願いします。



たかくわ しょうた ろう
高桑 章太郎

- ① 岐阜県高山市
- ② 内科
- ③ 富山大学から来ました。生まれも育ちも高山です。高山の医療に貢献できるように頑張ります。丁寧な診察を心がけたいと思っています。よろしくお願いします。



すずき あさみ
鈴木 あさ美

- ① 愛知県豊橋市
- ② 内科、麻酔科、脳外科
- ③ 今年3月に岐阜大学を卒業し、この春にはじめて高山を訪れました。初めての町、初めての仕事で毎日新しいことに出会い、楽しく仕事をやらせて頂いています。何も出来ないからこそ、毎日患者さんの話をしっかり聞き、分からないことは上席の先生に質問をするようにしています。この気持ちを忘れないようにしたいです。よろしくお願いします。



もり みゆき
森 みゆき

- ① 岐阜県羽島郡
- ② 歯科口腔外科
歯科補綴科
- ③ 私は大学の6年間を長崎県で過ごしたのですが、そこでは岐阜県の方との県民性の違いに驚かされることが多々ありました。研修中は、技術の向上はもちろんのこと、患者さまの性格やニーズに合わせた診療を心がけていきたいと思っています。



研修・講演・勉強会のご案内

- ・「地域医療連携パス講演会&岐阜県下統一5大がんパス説明会」
8月24日（金）19：30より 高山赤十字病院 本館3階 講堂
- ・「病診連携症例検討会」
9月 5日（水）19：30より 高山赤十字病院 本館3階 講堂
- ・「肺がん早期診断研修会 医療従事者向け」
9月21日（金）19：30より 高山グリーンホテル
- ・「医師のための緩和ケア研修会」
9月29日（土）、30日（日） 高山赤十字病院 本館3階 講堂

※詳細は、追ってご案内いたします。

地域連携課からのお知らせ

8月1日より病診連携室の業務時間が変わります。

平日 8:00～19:00

土曜日 8:30～12:00

※日曜、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）、5月1日（日本赤十字社創立記念日）はお休みさせていただきます。

日時や診療内容により、診療科へ相談の必要がある予約については、すぐにお返事が出来ないことがありますので、ご了承下さい。

TEL 0577-35-1880

FAX 0577-32-1165

地域連携課（病診連携室）

※平日17時以降及び土曜日の受診についての連絡は、今まで通り救急外来へお願いします。

編集後記

映画『大丈夫。』の上映会を見る機会がありました。子どもたちが自分の命にしっかりと向き合い夢を語りつつ、けなげに生きる姿に感動し涙がとまりませんでした。

その子どもたちに寄り添い最後まで見守る医師の姿に医療スタッフ本来の姿勢をみる思いがしました。日々不安を抱えて毎日を生きている患者さんとその家族に微力ながら援助出来たらと思いつつスタッフと共に毎日の業務を頑張っています。 K. S



日本赤十字社

高山赤十字病院
地域連携課

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地
TEL : 0577-35-1880 FAX : 0577-32-1165
メールアドレス byoshin@takayama.jrc.or.jp
ホームページ <http://www.takayama.jrc.or.jp/>